



滋賀陸協広報

一般財団法人 滋賀陸上競技協会

〒520-0037 大津市御陵町4-1 皇子山陸上競技場内2-1室

☎/fax077-527-3925 <http://srkshiga.com>

いよいよ「わた SHIGA 輝く国スポ」が開催されます！

一般財団法人滋賀陸上競技協会

会長 野村昌弘

弥生の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、いよいよ滋賀県での国民スポーツ大会が開催されます。滋賀県では1981年にはじめての国民体育大会が開かれて以来、44年ぶりの開催です。天皇杯皇后杯獲得に向け滋賀県あげて一致団結してまいりましょう。

昨年の成績を振り返りますと滋賀の陸上界もすばらしい足跡を残してくれました。

第78回国スポ「SAGA2024」では天皇杯17位、皇后杯14位という成績でした。成年女子ハンマー投げ小館充華選手の優勝をはじめ、成年女子800mの西田有里選手の2位、成年男子走幅跳藤原孝輝選手の3位など華々しい活躍が見られました。今年の国スポはどんな好成績が生まれるのか、今から高まる気持ちを抑えられません。

「**落合晃選手 800m日本新記録**」おめでとうございます。昨年7月28日福岡の博多の森陸上競技場で行われた全国高等学校陸上競技対校選手権大会(インターハイ)においてみごとな日本新記録を樹立されました。滋賀の陸上界の誇りとして、大切に見守っていきたく存じます。

また、定例の役員改選が先日の3月2日に行われ、令和7年度、8年度の役員が内定しました。私も2期目を迎えることとなり、気持ちを新たにして、国スポ成功を目指し取り組んでいきたいと考えております。

「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も」

これは江戸時代米沢藩主上杉鷹山の言葉です。どんなことでもやろうと思えば努力すれば必ず実現できます。みんなで盛り上げて頑張るまいりましょう。

【評議員会】

令和6年度 定時評議員会 《令和6年6月8日(土) ポストプラザ》

議決事項1) 令和5年度決算および事業報告の承認

協議事項1) 評議員会の開催方法の変更

報告事項1) 令和5年度栄章受賞者の報告

令和6年度 臨時評議員会 《令和7年3月2日（日）ポストンプラザ》

協議事項1) 2025（令和7）年度事業計画の承認

協議事項2) 2025（令和7）年度予算の承認

報告事項1) 2024（令和6）年度栄章受賞者の報告

【 理事会 】

令和6年度 第1回理事会 《令和6年5月11日（土）平和堂 HATO スタジアム》

1) 令和5年度事業報告 2) 令和5年度決算案

報告：①国スポ競技役員候補者 ②国スポ障スポ大会準備委員会の設置

③近畿選手権（国スポリハーサル）

令和6年度 第2回理事会 《令和6年8月11日（日）平和堂 HATO スタジアム》

1) さが国スポの派遣選手・監督・コーチ 2) 都道府県対抗男女駅伝の監督

報告：①IHの結果報告 ②来年度の県民スポーツ大会

令和6年度 第3回理事会 《令和6年12月1日（日）平和堂 HATO スタジアム》

1) 都道府県対抗女子・男子駅伝競走大会の派遣選手

2) 2025（令和7）年度競技日程案 3) 令和7・8年度陸協役員改選

報告：①さが国スポ結果 ②栄章 ③各種大会 ④R7意向調査

令和6年度 第4回理事会 《令和7年3月2日（日）ポストンプラザ》

1) 2025（令和7）年度事業計画 2) 2025（令和7）年度予算

3) 2024（令和6）年度栄章受賞者 4) 県民スポーツ大会陸上競技（一般の部）

報告：①2025（令和7）年度登録料等

令和6年度 第5回理事会 《令和7年3月2日（日）ポストンプラザ》

1) 令和7年度8年度会長の選任 令和7年度8年度執行役員の選任

【 強化委員会 】

◎「日本陸連アスレティックス・アワード 新人賞」受賞 おめでとうございます！！

落合晃選手（滋賀学園高校）が、日本陸連アスレティックス・アワードの新人賞を受賞されました。

今年度は日本記録の樹立をはじめ、さまざまな大会で大活躍されました。新しい舞台での活躍も楽しみです。

応援よろしく願いいたします。

【落合選手より】

たくさんの方の応援、サポートがあってこそこの賞だと強く感じています。感謝の気持ちでいっぱいです。

来年の東京世界選手権で入賞、メダルを狙ってこの感謝を少しでも形にしたいと思っています。

またここまで育てていただいた滋賀県で、今年は国スポが開催されます。4月から大学生になり滋賀県を離れま

すが、これからも少しでも滋賀県の力になれるように頑張りたいです。

今後も応援よろしく願いします。

■第108回日本陸上競技選手権大会・室内競技 2025年2月1日(土)～2日(日) 大阪城ホール
日本選手権男子走高跳において、瀬古優斗選手 (FAAS) が2m18で見事優勝されました。
今後の活躍もおおいに期待される選手です。応援よろしくお願いいたします。

【瀬古選手より】

今大会は、記録はどうであれ勝つことに重きを置いていたので、シーズン初戦を勝ち切ることができて、良いスタートになりました。屋外でさらに記録を伸ばしていきたいです。
今シーズンもご声援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

■第43回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 2025年1月12日(日) たけびしスタジアム京都

【結果】26位 2時間23分03秒

総評としては概ね選手の力通りにまとめることは出来たと考える。特に中学生区間において、3区の藤田選手は、夏の全中1500mで決勝進出しており、そのスピードを活かして流れを変えることができた。8区の佐々木選手も藤田選手と共に全中駅伝に出場し、その経験が活きる好走でアンカーの棚池選手に襷を繋ぐ段階で前の集団が見える位置で繋いでくれた。棚池選手は、選手宣誓が気が気でなかったと思うが、きちんと仕事をしてくれるチームの大黒柱。安心して任せられる存在である。



次年度以降の課題について、中学生は佐々木選手を中心に来年も高いレベルで勝負が出来る見通し。高校生については、藤田選手が進級するが彼女の力を伸ばしながらも全体の底上げが必要。高校卒業後も競技を継続する選手育成も課題。社会人は、1区や2区の前半の流れを作れる選手の目処を立てていくことが重要となる。

女子監督 吉居 克広 報告書より抜粋

■第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 2025年1月19日(日) 広島平和記念公園

【結果】42位 2時間24分10秒



今年度は国スポ開催県であることから開会式において選手宣誓という大役を仰せつかり、県選手団主将の梶谷優斗選手(東海大・滋賀学園高出身)が「阪神大震災から30年、原爆投下から80年の節目を迎える中で故郷のユニフォームを着て都道府県駅伝に出場できることを誇りに思い全力で駆け抜ける」と、素晴らしい宣誓をした。

レースにおいては年始からインフルエンザ等に罹患する選手もいて、急遽メンバー変更を強いられる厳しい状況でのレースとなった。山中選手や高校生においてもインターハイ1500m入賞の実績がある菅原選手・藤澤選手が体調不良等でメンバーから外れるなど、苦しい展開となった。しかし、出場した高校生は全て2年生であり、今大会の経験を次年度のシーズンに生かしてくれるものと考えている。

一般区間においてもメンバーは全て大学生で、全ての選手が実業団にすすみ競技を継続する予定である。さらに、この駅伝を経験した本県出身の選手が箱根駅伝・ニューイヤー駅伝に多く出場していることから、地道な強

化策が実りつつあると考えている。そして今大会で一番健闘してくれた中学生は控えも含め3名とも3000mにおいて8分40秒前半の記録を有しており、過去最強となった。今後の活躍が楽しみだ。

また、今大会一週間前の合宿時には、早稲田大学駅伝監督の花田勝彦監督（彦根東高→早稲田大学→SB 食品）から激励をいただき、中高生にはよい機会となった。今後も地道な強化を続けることで第1回大会以来、念願の入賞に近づくものと考えている。

男子監督 大河 亨 報告書より抜粋

■冬季強化事業（選抜・育成練習会）

11月・2月・3月と計3回にわたり、中・高・大・一般の選抜された選手が一同に集まる練習会を開催しています。年々参加してくれる選手数が増え、特に中学生の参加者が増えていることは大変喜ばしく、この強化事業の一つの成果だと言えるでしょう。



2月8日に開催した第2回目の練習会では、悪天候の中、大勢の選手が参加してくれました。その中には、昨年の佐賀国スポで入賞をしたハンマー投げの小舘充華選手、100mの奥野由萌選手、砲丸投の佐野拓人選手、300mの壹岐元太選手など、大学・社会人選手も参加してくれました。雪のため、練習場所のスペースが取れない中、中高生と同じく汗を流し、

必死に練習に取り組む大学・社会人選手の姿を間近で見ることができ、中高生にはとてもいい刺激となったことでしょう。憧れの選手たちと同じ空間で練習をしたり、話をしたりする機会があるこの練習会は、貴重な機会となっています。練習会の最後には、強化委員長であり国スポの監督である村上先生より、

「いよいよ滋賀国スポが今年に開催される。この2025に向けてこれまで強化を図ってきた。この中から1人でも多くの選手が国スポで活躍してくれること、また、インターハイや全中への出場や入賞を期待する」

という熱いメッセージが伝えられました。これを受けて各選手におかれては、来年度への意気込みと全国大会への士気がさらに高まったことでしょう。

いよいよ今年10月に迫る滋賀国民スポーツ大会に向け、さらに強化を図り、天皇杯入賞を目指していきたくと思っています。ご声援のほどよろしくお願いいたします。

【 マスターズ 】

■第40回近畿マスターズ陸上競技選手権大会 2024年6月30日（日） 平和堂HATO スタジアム

近畿登録者限定で開催され、エントリーは429名、滋賀マスターズからも78名が参加しました。あいにくの雨天となりましたが、優れた競技場の設計に助けられ、トラック種目は競技スタートまで濡れることなく移動できました。

今回も関西学生陸上競技連盟から多くの学生が補助員として活動してくれ、スムーズな大会運営ができました。

<大会新1位>

100m (w80) 渥美 裕子 17" 66
 200m (w45) 種子田いずみ 28" 69
 200m (m70) 大江 良一 28" 69
 ハンマー投げ (m-24) 山本 雄大 49m98



■第30回滋賀マスターズ選手権大会 2024年9月8日(日) 皇子山陸上競技場

好天にも恵まれ、多くの新記録がうまれました。
 マスターズの選手も頑張っています!!

県新記録(大会創設) 男子12 女子6 リレー4
 日本新 60m (w80) 渥美 裕子 10" 29
 100m (w80) 渥美 裕子 16" 98
 4×400mリレー (w40) 4'25"44
 種子田いずみ 海部奈苗 中江保子 鮫澤知美

【女マイルメンバーより】

皆が力を出し切ってバトンをつなぎ、予想以上の記録を出すことができました。応援の盛り上がりのおかげもあり、学生以来の楽しい試合となりました。開催にあたり、たくさんのご支援ありがとうございました。



【普及委員会】

■日清食品カップ第40回全国小学生陸上競技交流大会 2024年9月22日(日) 新国立競技場

滋賀県予選の時よりも記録を更新できた選手もいれば、力が出し切れなかった選手もいますが、全員が滋賀県代表として一杯頑張りました。

慣れない電車移動に苦戦しながらも、東京オリンピックが開催された新国立競技場で競技ができたことや、県外の選手と様々なコミュニケーションが取れたことなど、参加した子どもたちは競技結果以上の貴重な経験ができたことでしょう。

秋シーズン以降は、SGH 秋季記録会、シガリク・小学生陸上記録会、滋賀陸協 1000m記録会、SGH1000m記録会と4大会が開催されました。関係者の皆さまには、ご協力いただき大変ありがとうございました。来年度も引き続き子どもたちのためによりしくお願い申し上げます。



5年男子 100m	川橋 奏太	ランプロアスリートクラブ	13秒90 (+0.6)	5組5着
6年男子 100m	岩澤 京介	ランプロアスリートクラブ	予選 12秒73 (0.0) C決勝 12秒73	6組3着 4着

5年女子100m	松實 珠理奈	大津スキースポーツ少年団	14秒53 (+1.7) 1組5着
6年女子100m	石川 結月	らんクラブ	14秒08 (+0.7) 3組7着
男子コンバインドA	櫻井 陽真	草津 JAC	39位 (走高跳1m28 80mH13秒98(+0.6))
男子コンバインドB	山田 武利	アスリートキッズ	39位 (走幅跳4m25(-0.2) ジャベ40m86)
女子コンバインドA	今岡 夏希	栗東陸上教室	42位 (80mH14秒83(-0.5) 走高跳1m15)
女子コンバインドB	岩崎 由紗	長浜陸上教室	35位 (ジャベ36m97 走幅跳3m93(+0.2))
混合4×100m	塩田 湖春・辻田 航輝 高岸 愛海・田中 楓太	びわこ RUNNERS クラブ	54秒50
友好女子100m	森本 美咲	びわこ RUNNERS クラブ	15秒00(-0.1) 5組7着
友好男子100m	清水 陽斗	びわこ RUNNERS クラブ	14秒31(+1.0) 2組6着

【中体連】

■第73回近畿中学校総合体育大会駅伝の部 2024年12月1日(日) 京都府山城総合運動公園内コース
男女各5チームが出場し、男子は大津市立唐崎中学校の8位、女子は大津市立栗津中学校の9位が滋賀県勢最上位となりました。区間賞は男子4区で中尾瞭佑選手(唐崎中・3年)が獲得しました。

■第32回全国中学校駅伝大会 2024年12月15日(日) 滋賀県希望が丘文化公園
本県開催9年目となる全国中学校駅伝大会が開催されました。男子の部では、埼玉県代表の鶴ヶ島市立藤中学校が初優勝。女子の部では、岡山県代表の岡山市立京山中学校が優勝し、見事2連覇となりました。滋賀県勢は、県代表として出場した大津市立唐崎中学校男子チームが30位、大津市立栗津中学校女子チームが29位、開催地代表として出場した甲賀市立水口中学校男子チームが37位、守山市立守山南中学校女子チームが44位という結果でした。

■近畿ブロック研修合宿 2025年1月11日(土)～13日(月) 和歌山県紀三井寺陸上競技場
滋賀県が運営担当県として最終年となり、合宿の運営に携わりました。選手にとっては他府県アスリートとの交流を深め、有意義な時間となりました。また、指導者においても指導方法等の交流を行い、多くのことを学ぶ機会となりました。令和7年度は滋賀県で近畿中学校総合体育大会が行われます。一人でも多くの選手が優勝・入賞するよう中体連一丸となって盛り上げていきます。

■2025日本室内陸上競技 大阪大会 2月1日(土)～2日(日) 大阪城ホール
U16男子60mにおいて、青木優羽選手(信楽中・2年)が6"91で優勝しました。青木選手は2024年全中福井大会においても、トライアルレースに進出し、10"86(-1.5)をマークするなど、2025シーズンが非常に楽しみな選手です。これからの活躍もぜひご覧ください。



【青木選手より】

昨年は、全中・U16にもう一步という悔しさの残る結果になりました。今年 2025 年は全中で優勝がしたい！！という気持ちが強く大きくなり、体質改善、腰が落ちない走りをするための努力をして来ました。そして自分の今を知るために、室内陸上大会にエントリーしました。

陸上部でない活動であり、学校をはじめ他校の仲間や強化の先生方に支えて頂いて『優勝』という結果を得られたと改めて感じています。当たり前でない活動です。感謝を忘れず、ひとつひとつを積み重ねチカラにしていきたいと思います。

みなさんの応援が本当にチカラとなります。これからも宜しくお願いします。

【高体連】

■U18 陸上競技大会 2024年10月18日(金)～20日(日) 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場
男子ハンマー投において米崎暖翔選手(滋賀学園高)が55m84の記録で第5位、女子3000mWでは河合夢乃選手(草津東高)が14'14"30の記録で第6位、女子走幅跳では保田美羽選手(近江高)が5m83の記録で第2位という好成績でした。

■滋賀県高等学校駅伝競走大会 2024年11月3日(日) 希望が丘文化公園の特設コース



2年連続で比叡山高校がアベック優勝し、全国高等学校駅伝競走大会の出場権をつかみ取りました。

男子の部では、第2位が滋賀学園高校、第3位が草津東高校という結果でした。

女子の部では、第2位が草津東高校、第3位が大津商業高校という結果でした。

■冬季強化合宿 練習会など 2024年12月～2025年2月 希望が丘陸上競技場

高体連では、2024年12月末に3日間の冬季選抜強化合宿の実施や、1月～2月の2ヶ月間で合計5回の練習会を開催するなど、陸上競技の普及・強化に向け精力的に活動を行っています。1人でも多くの選手が、全国IHに出場することや、今年の10月に控える滋賀国スポ・障スポで活躍することを目指し、今後も全力で取り組んでまいります。今後とも、高体連の活動への応援、サポートよろしくお願ひいたします。

【編集後記】

いよいよ今年は滋賀国スポ・障スポが平和堂HATOスタジアムで開催されます。選手と役員そして現地での観戦をはじめ、さまざまな形でサポートして下さる方々と一体となって盛り上げ、最高の競技会を作りたいと思っています。応援のほどよろしくお願ひいたします。